

## 平成 29 年度奥州市病院事業報告書

### 1 概況

#### (1) 統括事項

##### ア 病院事業全体としての状況

本年度も平成 26 年度から平成 32 年度までを計画期間とする奥州市立病院・診療所改革プラン【改訂版】で定めた今後の方向性に基づき、市民に質の高い適切な医療を安定的に提供していくため、さらなる改善の取組みを進めました。

医師及び看護師等の確保対策については、総合水沢病院の医師が 1 人減、まごころ病院の医師が 1 人増となったほか、本年度末に退職を予定していた衣川歯科診療所長については、休診期間を設けることなく新たな所長へ引き継ぐことが出来ました。

また、近年、採用試験の受験者数が減少傾向にある看護師については、試験の日程や内容等の見直しを図ることで、例年を超える新規採用職員数の確保が出来ました。

なお、新市立病院建設事業については、平成 29 年 1 月に設置した新市立病院建設準備室において、新市立病院建設基本構想・基本計画の策定に係る協議、検討を進めました。

はじめに、収益に大きく影響する医師数は、前年度と同じ 32 人となりました。医師確保対策の強化を図るとともに、職員（医師を除く。）の施設間における人事交流を拡大し、スキルアップを図ることで、市立医療施設として市民が安心して良質な医療を受けられるよう、引き続き経営の質、医療の質の向上に努めます。

次に、経営状況として、入院患者数は 58,534 人（前年比 3,541 人減）、外来患者数（訪問看護を除く。）は 161,098 人（前年比 2,723 人減）となっており、一日当たりの平均患者数は入院で 160.4 人（前年度 170.1 人）、外来で 660.2 人（前年度 674.2 人）となりました。一般病床利用率は 75.6%で、前年度の 80.2%から 4.6 ポイントの減となっています。

医療局としての収益的収入及び支出（税抜）については、医業収益が 3,739,416,055 円、医業外収益が 1,365,528,609 円、訪問看護事業収益が 44,953,727 円、訪問看護事業外収益が 37,532 円、このほか特別利益が 509,894 円で、病院事業収益総計は 5,150,445,817 円となりました。

支出については、医業費用が 5,020,432,158 円、医業外費用については 173,130,617 円、訪問看護事業費用が 61,952,547 円、このほか特別損失が 3,051,287 円で、病院事業費用総額は 5,258,566,609 円となりました。

この結果、医業収支で 1,281,016,103 円の損失、経常収支で 105,579,399 円の損失となり、特別損益を含めた病院事業収支における純損益は 108,120,792 円の損失となりました。

また、資本金的収入及び支出（税込）については、収入は 152,249,000 円、支出は 250,036,966 円となり、収入が支出に対して不足する額は過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

## イ 医療機関ごとの状況

### (ア) 総合水沢病院

医師数は前年度と比較し、小児科で1人減の合計 19 人となっています。入院患者数は 45,071 人で前年度と比較して 1,464 人 (3.1%) の減となり、外来患者数 (訪問看護を除く。) は 83,219 人で前年度と比較して 4,257 人 (4.9%) の減となりました。訪問看護は、利用者数が 2,818 人となっています。

収益的収入 (税抜) については、医業収益が 2,661,431,110 円、医業外収益が 812,440,317 円、訪問看護事業収益が 26,137,247 円で、収益総額は 3,500,008,674 円となりました。

収益的支出 (税抜) においては、医業費用が 3,288,411,537 円、医業外費用が 95,987,711 円、訪問看護事業費用が 36,322,816 円、このほか特別損失が 1,270,854 円で、支出総額は 3,421,992,918 円となりました。

この結果、医業収支では 626,980,427 円の損失、経常収支では 79,286,610 円の利益となり、特別損益を含めた純損益では 78,015,756 円の純利益となりました。

### (イ) まごころ病院

医師数は前年度と比較し、緩和ケア科新設による 1 人増の合計 10 人となっています。入院患者数は 11,790 人で前年度と比較して 1,974 人 (14.3%) の減となり、外来患者数 (訪問看護を除く。) は 51,310 人で前年度と比較して 1,725 人 (3.5%) の増となりました。訪問看護は、利用者数が 1,411 人となっています。

収益的収入 (税抜) については、医業収益が 761,208,782 円、医業外収益が 208,620,693 円、訪問看護事業収益が 6,892,203 円、このほか特別利益が 500,088 円で、収益総額は 977,221,766 円となりました。

収益的支出 (税抜) においては、医業費用が 1,105,559,262 円、医業外費用が 42,200,123 円、訪問看護事業費用が 13,242,986 円、このほか特別損失が 630,242 円で、支出総額は 1,161,632,613 円となりました。

この結果、医業収支では 344,350,480 円の損失、経常収支では 184,280,693 円の損失となり、特別損益を含めた純損益では 184,410,847 円の純損失となりました。

### (ウ) 前沢診療所

平成 28 年 5 月から外来を再開して 2 年目を迎え、外来患者数 (訪問看護を除く。) は 6,096 人で前年度と比較して 2,105 人 (52.7%) の増となりました。なお、入院については引き続き休止しています。訪問看護は、利用者数が 1,175 人となっています。

収益的収入 (税抜) については、医業収益が 50,836,121 円、医業外収益が 152,092,219 円、訪問看護事業収益が 11,924,277 円、訪問看護事業外収益が 37,532 円、このほか特別利益が 7,236 円で、収益総額は 214,897,385 円となりました。

収益的支出（税抜）においては、医業費用が 183, 181, 052 円、医業外費用が 19, 324, 206 円、訪問看護事業費用が 12, 386, 745 円、このほか特別損失が 250, 065 円で、支出総額は 215, 142, 068 円となりました。

この結果、医業収支では 132, 344, 931 円の損失、経常収支では 1, 854 円の損失となり、特別損益を含めた純損益では 244, 683 円の純損失となりました。

#### （エ）衣川診療所

医師数は前年度と変わらず 1 人となっています。入院患者数は 1, 673 人で前年度と比較して 103 人(5. 8%)の減となり、外来患者数は 13, 760 人で前年度と比較して 76 人(0. 6%)の増となりました。

収益的収入（税抜）については、医業収益が 208, 283, 962 円、医業外収益が 150, 703, 752 円で、収益総額は 358, 987, 714 円となりました。

収益的支出（税抜）においては、医業費用が 350, 124, 240 円、医業外費用が 13, 003, 858 円、このほか特別損失が 884, 156 円で、支出総額は 364, 012, 254 円となりました。

この結果、医業収支では 141, 840, 278 円の損失、経常収支では 4, 140, 384 円の損失となり、特別損益を含めた純損益では 5, 024, 540 円の純損失となりました。

#### （オ）衣川歯科診療所

医師数は前年度と変わらず 1 人となっています。外来患者数は 6, 713 人で前年度と比較して 290 人(4. 1%)の減となりました。

収益的収入（税抜）については、医業収益が 57, 656, 080 円、医業外収益が 41, 671, 628 円、このほか特別利益が 2, 570 円で、収益総額は 99, 330, 278 円となりました。

収益的支出（税抜）においては、医業費用が 93, 156, 067 円、医業外費用が 2, 614, 719 円、このほか特別損失が 15, 970 円で、支出総額は 95, 786, 756 円となりました。

この結果、医業収支では 35, 499, 987 円の損失、経常収支では 3, 556, 922 円の利益となり、特別損益を含めた純損益では 3, 543, 522 円の純利益となりました。